

新型コロナウイルスの病気が広がらないようにするため 広島市長からのメッセージ

新型コロナウイルスの病気がこれ以上広がらないよう、日本全国で取り組んでいます、3月6日には、広島市でもこの病気にかかった人が見つかりました。

学校や仕事を休みにすることは、みなさんの生活や経済に大きな影響がありますが、一人ひとりの命や健康を守り、一日も早く普通の生活を取り戻すため、みんなで努力していかなければなりません。このため、市民のみなさんは、次のことを守ってください。

＜お願いしたいこと＞

- 空気の入替えが少ない場所で、たくさんの人で集まらないようにしましょう。
- 仕事に行く人以外は、混雑する時間にバスや電車などを使わないようにしましょう。
- 会社の人は、仕事を始める時間を早くしたり、遅くしたりしてみましょう。また、職場以外の家などでテレワークなどを使って仕事ができるか考えてみてください。
- よく手を洗いましょう。咳がでるときはマスクをしましょう。
- とても疲れていたり、息をするのが苦しいときは、家にいましょう。また、37.5℃以上の熱が4日以上続くときは、すぐに住んでいる区の保健センターに連絡してください。

お年寄りの人は、家の中にばかりいると、健康によくないので、混雑しないところで体操をしたり、散歩をしたりしてください。

10代から30代の若い人は、新型コロナウイルスの病気になっても、症状がひどくなることが少ないので、気付かないうちに、他の人にウイルスをうつしてしまうかもしれません。ですから、空気の入替えが少ない場所で、たくさんの人で集まらないようにしましょう。スポーツや音楽も楽しめなくなっていますが、自分や家族、みんなのために、もう少し我慢してください。みなさん協力してください。

SNSなどにある間違った情報を信じないようにして、落ち着いて対応すれば、きっと状況はよくなると信じています。

2020年3月11日
広島市長 松井 一實